



障がい者が楽しく生活する場所を

みなと
湊
やえこ
八重子
さん



PROFILE みなと・やえこ (56・大山)
看護師や保健師として勤務後、ご主人の仕事の関係で渡米。帰国後、アメリカで知った考え方に影響を受け、有償ボランティア団体「ベアーズ」を設立。

子どもをよく見る大切さ

息子の晋二朗さんが重い自閉症を持って生まれ「最初は普通の子と同じにしたいと考えた」と話す湊八重子さん。その考えは、息子さんが5歳の時に始まった7年間のアメリカ生活で変わる。

「子育ては、自分が何者かどんな生き方をしたいか考えることと、自分の子どもが何ができる可能性があるかを見極めることが大事。それは子どもと遊んだり、家事をしたりと接する中でわかる。その能力を問われ、子育てが楽しくなった。挑戦した事がたとえできなくても、その過程が楽しい。そう考えたら子どもが笑うようになり、家族も笑顔になった」と笑顔で語る。

シェアするボランティア

帰国後、障がいのある人のボランティア団体「ベアーズ」を設立し、みんなが楽しく生活できる場所を作った。息子さんの高等部卒業後は、有償

ボランティアを始めた。

「ベアーズ」では段ボールなどの回収や介護施設への本の配達、ごみステーションの清掃などを行っている。活動は多くの協力があつて成り立っている。そのため、活動で出た収益を少しでも地域に還元したいとの思いで、活動の収益などから図書券を図書館に寄付するなど、地域貢献をしている。

一緒に楽しく活動しよう

「ベアーズ」では、同じ背景を持つ人が集い話をするピアカウンセリングなども行われ、障がいのある人を支える家族にとっても心より嬉しいのだ。一緒に活動する新しい仲間はいつでも大歓迎。

連絡先 ☎ 0537-9327



▶車いす清掃のボランティア